

編 集 後 記

能登半島地震と能登豪雨における大規模な災害は、地域社会に深刻な影響を及ぼしました。しかし、その一方で、復旧作業の進展や地域住民、ボランティア、そして行政の協力により、少しずつではありますが回復の兆しも見えてきています。特に、道路の復旧や家屋の修繕が進んでおり、地域の人々が見せた resilience（レジリエンス）は、多くの学びを与えてくれました。

金沢星稜大学女子短期大学部および金沢星稜大学においても、能登地方を訪れボランティア活動を積極的に行っています。また、金沢星稜大学においては「創造的復興論」と言う科目が開講され、単なる災害支援だけではなく将来を見据えた活動も行っています。この科目は金沢星稜大学女子短期大学部の学生も履修可能であり、各種ボランティア活動へは短大生も参加しています。

本号には、論文2点と研究ノート3点を掲載することができました。国際的な研究や地域を扱った研究など、そのほか多岐にわたる研究成果が掲載されています。本号刊行に際しご投稿、ご協力いただいた執筆者の皆さまに感謝申し上げます。

令和6年12月 編集委員 辰巳 佳彦

星 稜 論 苑 第53号

令和6年12月23日 印刷

令和6年12月24日 発行

発 行 金沢星稜大学学会短期大学部会
〒920-8620 金沢市御所町丑10番地1
TEL (076) 253-3984
FAX (076) 253-3998

印 刷 所 ヨシダ印刷株式会社
〒921-8546 金沢市御影町19番1号
TEL (076) 241-2141
FAX (076) 243-4515

金沢星稜大学学会短期大学部会

部 会 長 辰 島 裕 美